



新潟リハビリテーション大学

FACT BOOK

2020

CONTENTS

1	在籍者数・志願者状況	2
2	在籍者の出身地	3
3	卒業・修了進路状況	4
4	国家試験合格率	4
5	社会貢献	5
6	教員構成	6
7	学生支援	7
8	外部競争的資金等獲得状況	8

1 在籍者数・志願者状況

在籍者数

2020年5月1日現在

医療学部	定員	在学生
1 学年	75	65
2 学年	95	79
3 学年	95	62
4 学年	120	90
合計	385	296

2020年5月1日現在

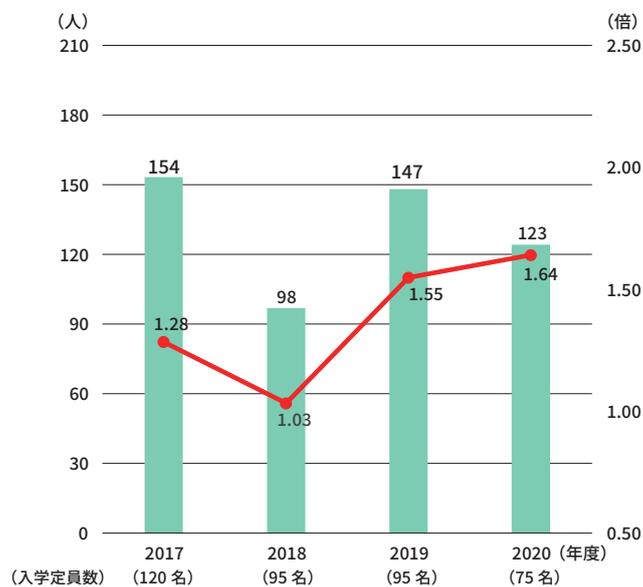
専攻	理学療法	作業療法	言語聴覚	リハ心理
1 学年	41 (40)	17 (20)	—	7 (15)
2 学年	57 (40)	14 (40)	—	8 (15)
3 学年	32 (40)	15 (40)	—	15 (15)
4 学年	41 (40)	17 (40)	17 (20)	15 (15)
合計	171 (160)	63 (140)	17 (20)	45 (60)

() は定員

2020年10月1日現在

リハビリテーション研究科	定員	在学生
1 学年	12	10
2 学年	12	11
3 学年 (長期履修)	—	2
合計	24	23

志願者状況 (医療学部)

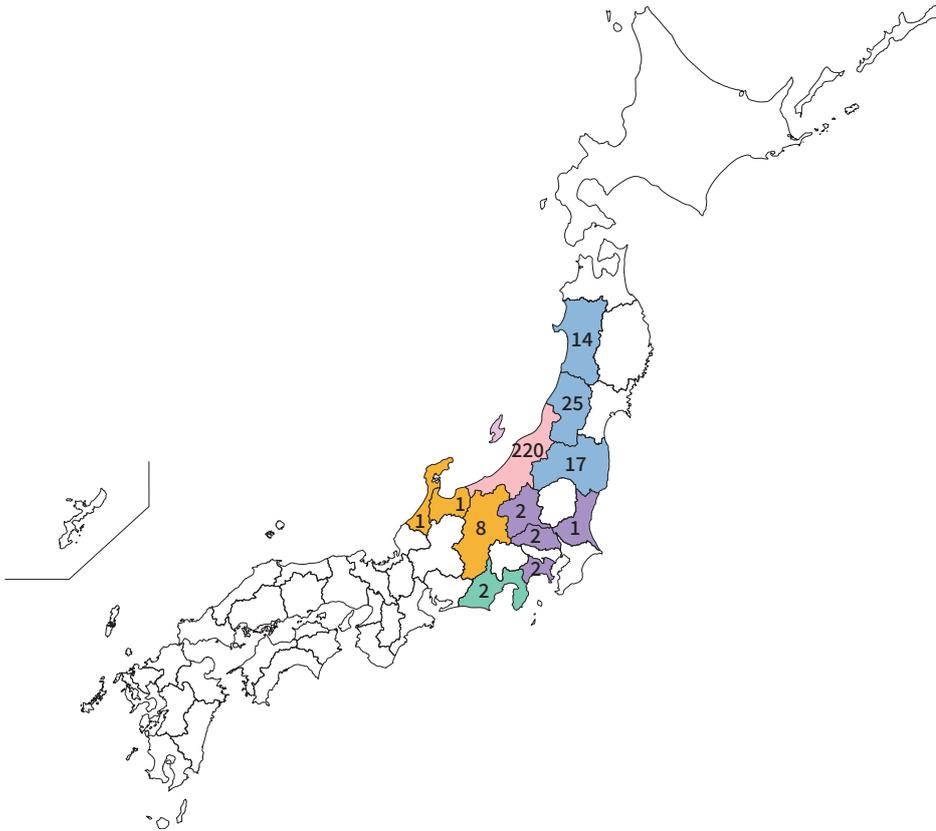


《試験別志願者数 (医療学部)》

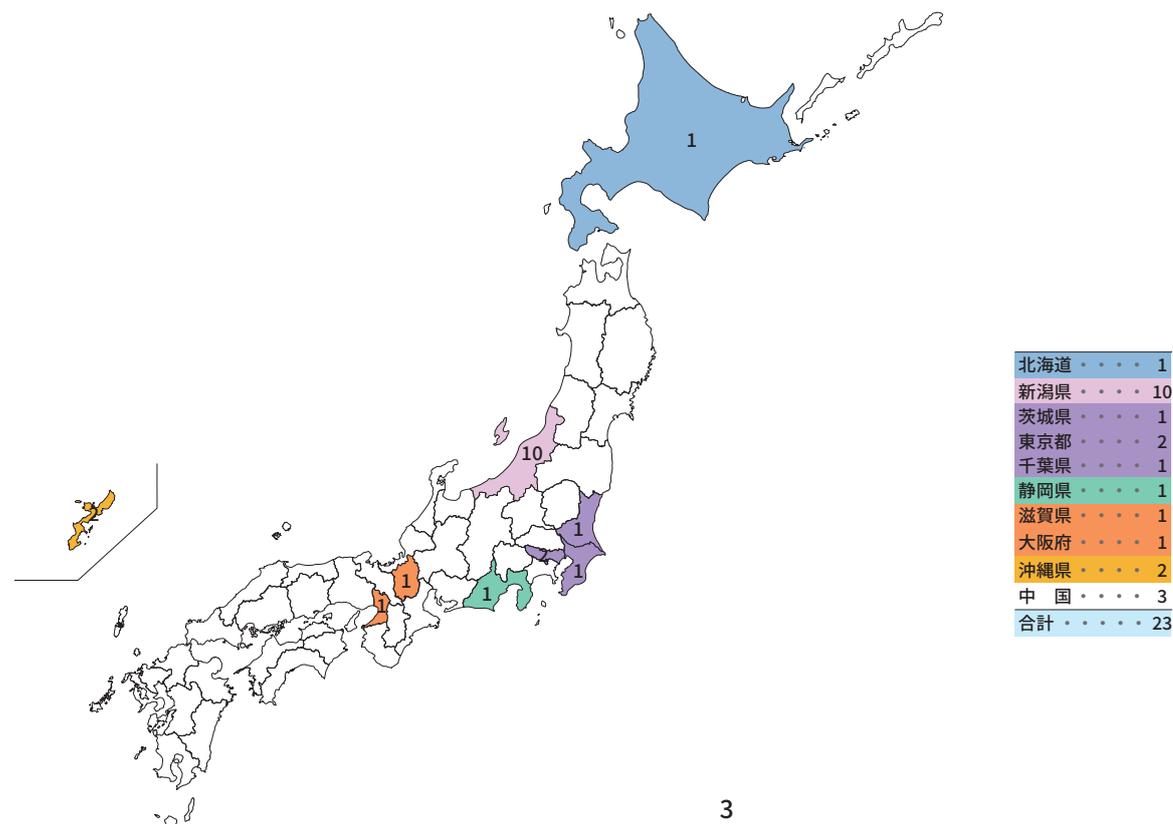
	2017	2018	2019	2020
一般	44	28	52	33
センター	56	28	41	35
推薦	53	42	53	53
その他・社会人	1	0	1	2
志願者合計	154	98	147	123
入学者	75	52	76	65

2 在籍者の出身地

在籍者の出身地（学部）

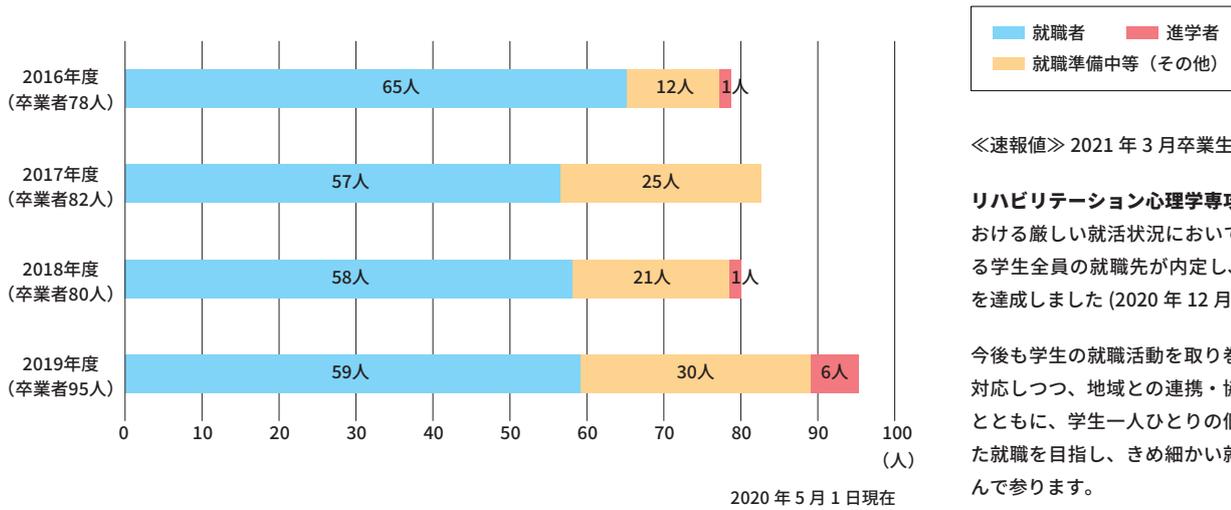


在籍者の出身地（大学院）



3 卒業・修了進路状況

卒業進路状況（学部）

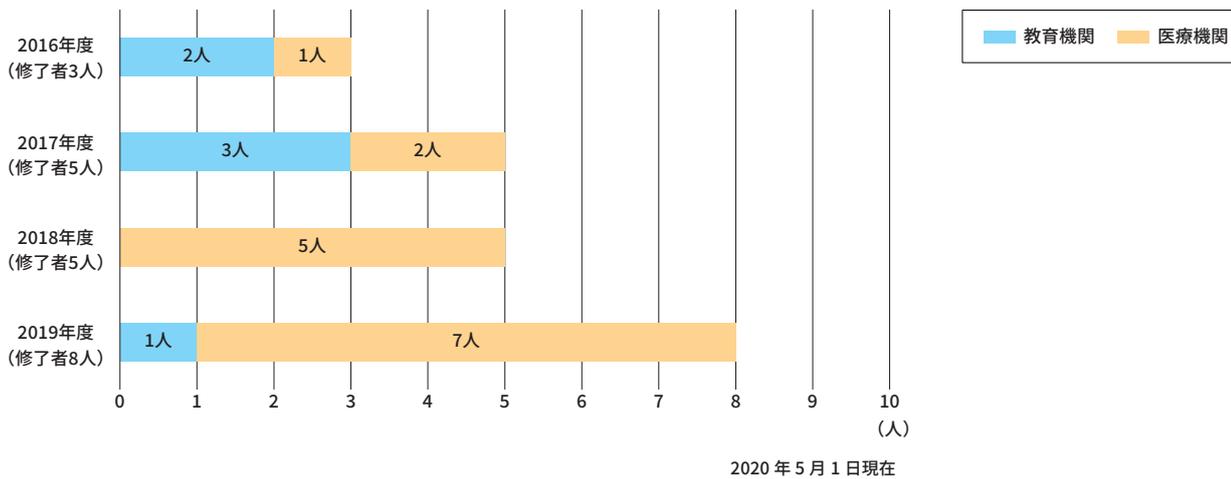


《速報値》2021年3月卒業生の就職状況

リハビリテーション心理学専攻は、コロナ禍における厳しい就活状況において、就職を希望する学生全員の就職先が内定し、就職率 **100%** を達成しました（2020年12月時点）。

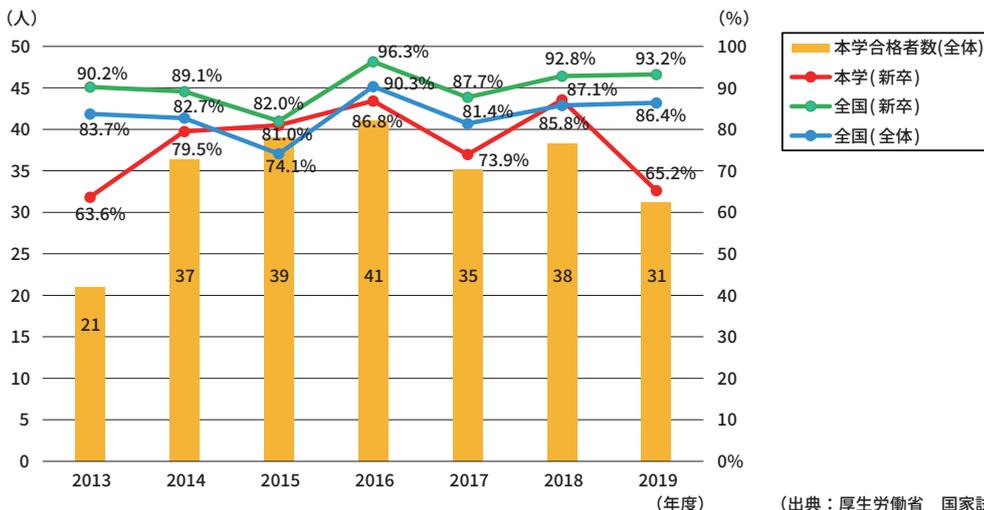
今後も学生の就職活動を取り巻く環境の変化に対応しつつ、地域との連携・協力を進めていくとともに、学生一人ひとりの個性や希望に沿った就職を目指し、きめ細かい就職指導に取り組んで参ります。

修了進路状況（大学院）



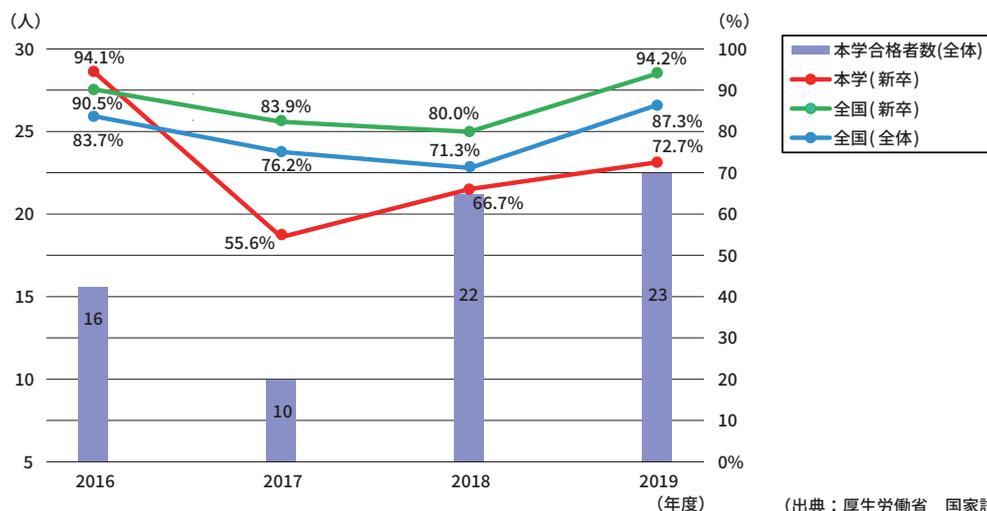
4 国家資格合格率

理学療法士合格率

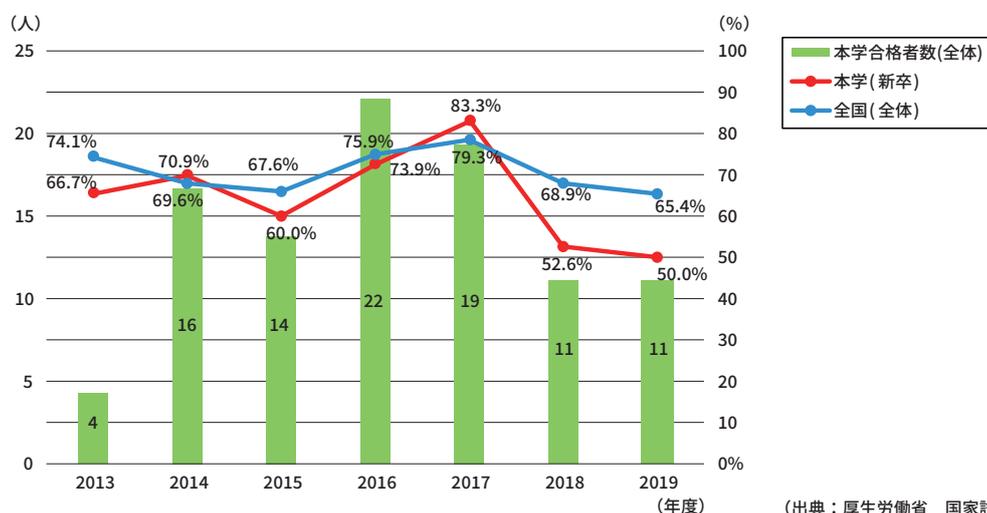


(出典：厚生労働省 国家試験合格発表 理学療法士国家試験)

作業療法士合格率

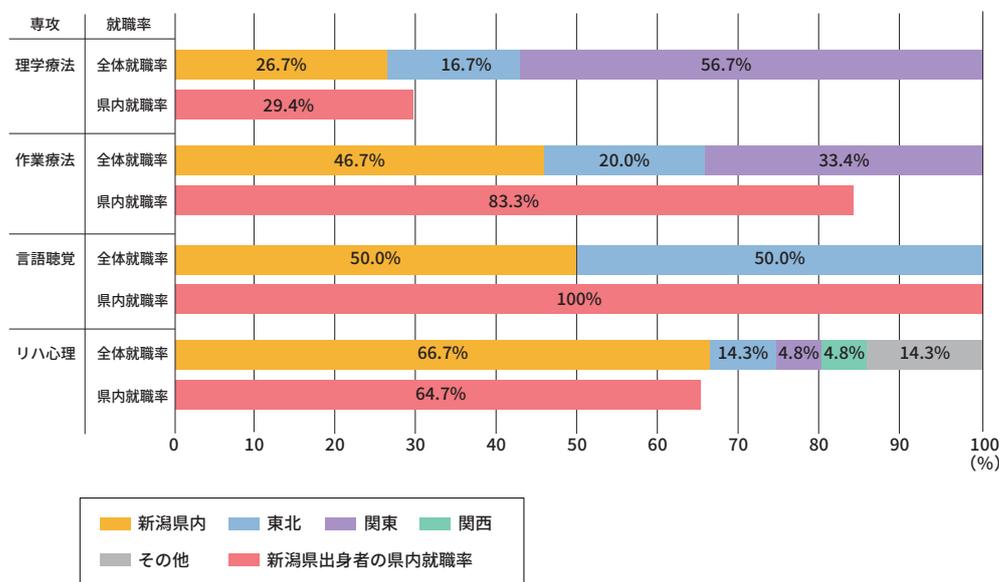


言語聴覚士合格率



5 社会貢献

地域別就職率 (2019 年度学部卒業生)



卒業後、新潟県内に就職する者の割合は、作業療法専攻 (46.7%) や言語聴覚専攻 (50.0%)、リハビリテーション心理学専攻 (66.7%) で比較的高くなっています。

新潟県出身者が新潟県内に就職する割合に限ってみれば、作業療法専攻 83.3%、言語聴覚専攻 100%、リハビリテーション心理学専攻 64.7% とより高い割合になります。

これは前身である専門学校、ならびに大学の同窓生である先輩方の県内での活躍も大きく影響しています。新潟リハビリテーション大学は、これからも地域社会を支え、地方創生を担う医療人材を養成し続けていきます。

自治体等ならびに高等学校との包括連携協定

自治体・団体名	主な活動内容	締結日
村上市	・包括連携協定に基づく種々の活動	2015年7月30日
粟島浦村	・介護保険事業への派遣	2015年12月2日
関川村	・地域介護予防活動支援事業 ・関川村介護予防普及啓発事業	2016年3月22日
岩船商工会	・みなどフェスティバルボランティア ・コロナに負けるな学生支援商品券	2015年9月25日

高等学校名	主な活動内容	締結日
新発田中央高等学校	・出前講座、高大連携入試	2016年7月22日
新潟県立村上桜ヶ丘高等学校	・出前講座、高大連携入試	2016年10月24日

高大接続・連携等（2019年度実施状況）

年度	課題名
新潟県立荒川高等学校	総合的な探求の時間（1年生）
新潟県立村上高等学校	村高イヨボヤプラン 出前講義・村高ゼミ（2年生） キャリア教育講演会（1年生） 事業所訪問（1年生）

ボランティア・サポート活動（2019年度実績）

活動団体等	事業名
岩船中学校区学校支援地域本部	村上市立岩船中学校チャレンジウォーク
村上市立岩船中学校	岩船中学校体育祭
新潟県立村上特別支援学校	新潟県立村上特別支援学校運動会
村上大祭運営委員会	村上大祭
“清流”荒川を考える流域ワークショップ	荒川と里山と田畑のめぐみ体験
関川村教育委員会	関川子どもチャレンジ100
関川村教育委員会	学力アップ!!サマー学習
村上支部老人クラブ連合会	新潟リハビリテーション大学学長杯争奪ベタンク交流大会
NPO法人村上トライアスロン	村上市・笹川流れ国際トライアスロン大会
NPO法人希楽々	きららスポーツマーケット
村上市役所	村上市長とのふれあいトーク

村上市をはじめ、関川村、粟島浦村と包括連携協定を締結し、保健医療や福祉の分野をはじめ、教育・文化、人材育成などの分野で幅広い地域貢献を展開しています。

＜村上市との連携・協定内容＞

- (1) 保健、医療及び福祉に関する分野 (2) 教育、文化及びスポーツに関する分野 (3) 技術開発及び研究に関する分野 (4) 防災及びまちづくりに関する分野 (5) 環境保全に関する分野 (6) 国際交流に関する分野 (7) 人材育成に関する分野 など

地元の高等学校と高大接続連携を締結し、高等学校教育と大学教育において相互に連携し、生徒および学生の視野を広げ資質・能力の向上を図る取り組みを行っています。

地域に根差した研究・介護予防教室（2019年度実施状況）

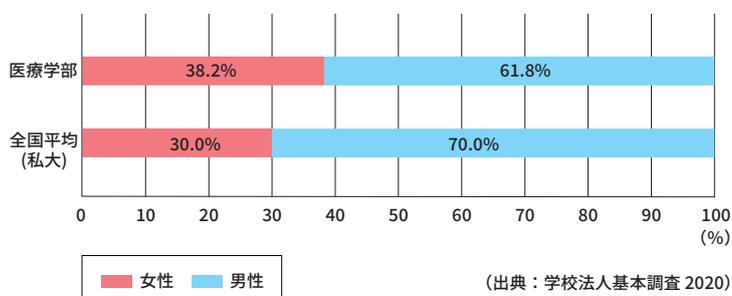
事業名	回数
「食べる力をつける教室」村上支部老人クラブ連合会共催	10
「転ばぬ筋力アップ教室」村上支部老人クラブ連合会共催	20
リハ大オレンジカフェ（認知症カフェ）	11

公開講座・講習会等（2019年度実績）

事業名	回数
藤細工（ラタンクラフト）で健康づくり	3
村上市第三地区民生委員児童委員協議会委員研修会	1
介護予防・日常生活支援総合事業への派遣	21
村上市立瀬波小学校 大学見学・体験学習（4・5年生）	2
村上市立岩船小学校 大学見学・体験学習（3年生）	1
村上市立神納小学校 出前講座（6年生）	1
村上市立金屋小学校 大学見学・体験学習（5年生）	1
関川村立関川小学校 大学見学・体験学習（4年生）	1

6 教員構成

教員男女比率（2020年度）



ST比（教員1人あたりの学生数）（2020年度）

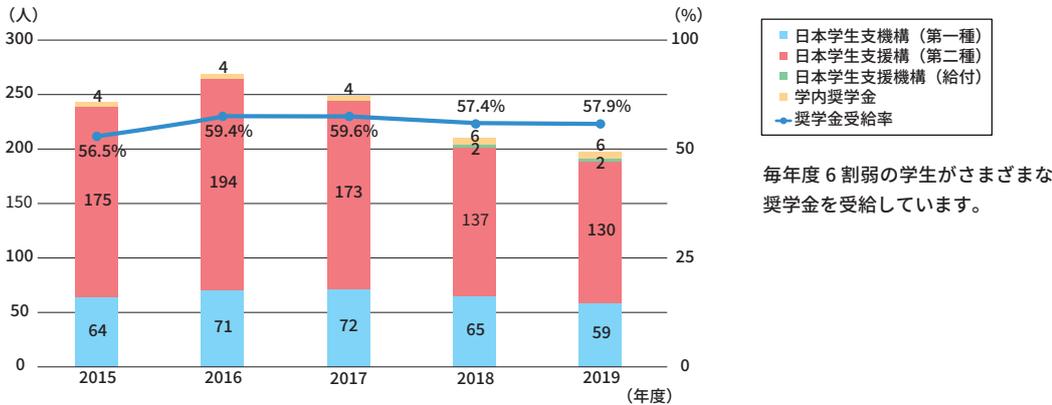
本学のST比平均	
医療学部	8.7
全国のST比平均	
大学全体	15.3
私大全体	19.3

ST比とは、学生（Student）の人数を教員（Teacher）の人数で割った教育環境の指標。教員一人当たりの学生数の比率、教員一人当たりに学生数が少ないと質が高いとされます。

(出典：学校法人基本調査 2020)

7 学生支援

奨学金受給状況



障害学生支援

■実際の支援内容

項目	取組内容
障害学生支援に関する基本方針・学内規程	平成 28 年 4 月、障害者差別解消法に伴う本学の方針、教職員対応要領、教職員対応要領における留意事項を整備しています。
教員に対する配慮事項の周知徹底	「教職員対応要領」、「教職員対応要領における留意事項」について教授会において周知徹底を図ったり、学生便覧にも掲載し常に確認出来るようにしています。
障害学生への支援に関する情報公開	障害学生支援情報として、「障害学生への支援の基本方針・具体例」「障害を理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応要領」「教職員対応要領における留意事項」をホームページで公表しており、入試時の配慮に対する事前相談についてもホームページ及び募集要項で広く周知しています。
相談員の配置	学習センターにて、公認心理師、臨床心理士、産業カウンセラーを取得した担当職員を含め交代制で対応しています。また、ゼミ担当教員と学生との定期的な面談を通して、合理的配慮を必要とする学生への支援対策を検討する取り組みも行っています。
授業等の支援の実施	定期受診等による欠席について公欠として認めています。
入学志願者支援の実施	入学志願者に対しては募集要項に事前相談を受け付ける旨を記載し、広く周知しています。また、事前相談により入試時の配慮について希望を聴取しています。
施設・設備に関する配慮	ステップがある出入口には「スロープ」、A 棟・D 棟入口階段には「昇降機」、E 棟には「エレベーター」、B 棟・C 棟・E 棟には「障害者用トイレ」を設置しています。
学内支援者の育成	学部の正規科目「リハビリテーション概論」では障害者と障害のレベル、障害の測定・評価法などの実例を提示し学んでいます。在学期間全ての講義を通して障害に対する正しい理解と知識を学習し、専門職種としての基本的な姿勢や考え方を身につけ、臨床の場での活用のみならず、学内支援者としても活動できるよう育成しています。

日本で唯一の総合評価誌「AERA MOOK 2021 年版 大学ランキング（朝日新聞出版）」の「障害学生支援ランキング（総合）」で本学がランクインし、県内の私立大学で **1 位** となりました。

大学における「障害学生支援」とは、障害のある学生が学びを求め大学に入学し、それを支える大学教職員らのたゆまぬ努力によって形成されていきます。

「人の心の杖であれ」。この建学の精神に基づき、新潟リハビリテーション大学では開学当初からマイノリティ（社会的弱者）といった人々の声や多様性を広く受け入れ、表面的に差別がないように見えても隠された不利益や障がいに基づくハラスメントを決して見逃さず、寄り添うことを選択し続けてきた結果が評価されました。持続可能な開発目標（SDGs）「4 質の高い教育をみんなに」にもあるように、本学はこれからも「誰一人取り残さない」すべての人が豊かに暮らす世界の実現を目指していきます。

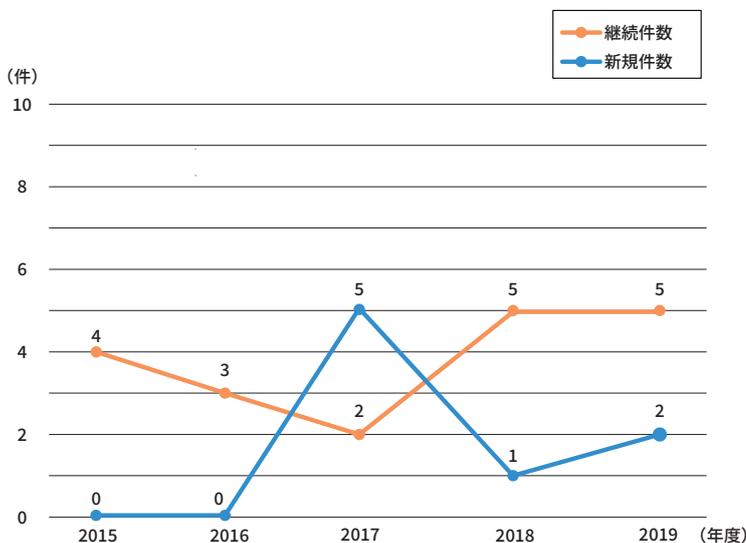
8 外部競争的資金等獲得状況

各種補助金受託状況

国や県からの助成を受け、教育ならびに研究の充実を図っています。
特に、採択率においては県内私立大学の中でもトップクラスを誇ります。

年度	事業名
2015	私立大学等改革総合支援事業タイプ1
2015	私立大学等教育研究活性化設備整備事業
2015	私立大学等経営強化集中支援事業タイプA
2015 2017	文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 地域高齢者の日常生活機能を向上させるプロジェクト (テーマ1:「摂食嚥下機能の向上」、テーマ2:「身体機能・認知機能の向上」)
2016	私立大学等改革総合支援事業タイプ1 (教育の質的転換)
2016	私立大学等改革総合支援事業タイプ2 (地域発展)
2016	私立大学等教育研究活性化設備整備事業
2016	私立大学等経営強化集中支援事業タイプA
2017	私立大学等改革総合支援事業タイプ1 (教育の質的転換)
2017	私立大学等改革総合支援事業タイプ2 (地域発展)
2017	私立大学等経営強化集中支援事業タイプA
2017	新潟県大学魅力向上支援事業 新潟県北地域における課題解決型教育プログラムの実施
2018	私立大学等改革総合支援事業タイプ1 (教育の質的転換)
2018	私立大学等経営強化集中支援事業
2018	新潟県大学魅力向上支援事業 村上地域の伝統産業と食産業を活用した実践型教育プログラムの試み
2019	私立大学等経営強化集中支援事業
2019	北東アジア留学生拡大支援事業
2020	私立大学等経営強化集中支援事業
2020	遠隔授業活用推進事業

科研費採択件数 (代表・分担)



大学の使命である「教育」「研究」「社会貢献」において、中でも「研究」は教育と社会貢献の双方を補完することが期待され、本学は地域に潜む課題を研究の側面からも支援し社会貢献に繋げています。

大学の教育研究の成果を地域社会に還元するという発想をさらに一歩進め「地域との関わりを深める中で教育研究を考える」方へとシフトすることで、地域社会が抱える課題を発展的に研究することによって本当の意味での社会貢献になり得ます。

教育研究機関としての存在意義を高めることは、医療福祉の社会と時代をリードする研究者の育成、ひいては地域の課題解決に繋がります。

地域密着型大学として、新潟リハビリテーション大学は今後も研究力向上に取り組んでいきます。



Niigata University of Rehabilitation

新潟リハビリテーション大学

FACT BOOK 2020

発行日：2021年3月31日

発行者：法人本部事務局 IR推進統括室